



Bluefin シリーズ 4

BS/BF10WT4

BS/BF15WT4

BS/BF10TPL4W

取扱説明書

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。

 警告 誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。	 注意 誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。
---	---

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



警告

万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、AC アダプター、または電源プラグを抜いて機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面に設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。壁面への設置方法は設置器具のマニュアルに従ってください。
	異常な発熱がある場合や、煙を発生した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに AC アダプターをコンセントから抜いて使用を中止してください。
	破損した Micro SD カードや外部機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけでなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合や内部に異物が入った場合は AC アダプターをコンセントから抜いてください。
	AC アダプターのケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外すなどの分解、独自の修理、改造などを行わないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。
	ディスプレイが破損し液晶が漏れ出した場合は、液晶が口に入らないようにしてください。飲み込むと中毒を起こす場合があります。万一口や目に入ってしまった場合は水でゆすぎ、医師にご相談ください。



注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。
	本体背面部にあるスリット状の通気口を布やテープ、その他で塞がないでください。通気口を塞ぐと本体の温度が上がり故障の原因となります。
	本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。
	コンセントを抜く場合は AC アダプターをしっかりと持って抜いてください。ケーブル部を引っ張って抜かないでください。
	AC アダプターはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。
	AC アダプターが抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかかった状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。
	本機のディスプレイ部はタッチパネルディスプレイとなっています。タッチパネル部分をペン先などの尖ったもので突いたり、強く叩いたりしないでください。破損の原因となります。

ご案内

タッチパネルのお手入れ

タッチパネルの表面が汚れた場合は、よく乾いた柔らかくきれいな布で拭いてください。汚れた布を使用して拭く、強くこするなどするとパネルを傷つける場合があります。

ドット抜け

液晶ディスプレイは精密な技術を使用して製造されておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが生じる場合があります。ドット抜けと呼ばれることもあります。これは液晶ディスプレイの特性によって生じるものであり、故障ではありません。返品や交換をお受けすることはできませんので予めご了承ください。

目次

1 はじめに	5
2 同梱品	5
3 各部の名称	6
3-1 BS/BF10WT4（10.1 インチモデル）	6
3-2 BS/BF15WT4（15.6 インチモデル）	10
3-3 BS/BF10TPL4W（10.1 インチ、LED 内蔵モデル）	14
4 Bluefin シリーズ 4 の仕組み	18
5 BrightSign OS のアップデート	19
5-1 バージョンの確認	19
5-2 アップデートファイルのダウンロード	19
5-3 アップデート手順	19
6 BrightAuthor	20
6-1 BrightAuthor のインストール	20
6-2 BrightAuthor 設定のポイント	21
7 セットアップ	22
7-1 セットアップ不要のケース	22
7-2 設定ファイルによるセットアップ	22
7-3 BrightSign Device Setup によるセットアップ	27
8 LED の制御（BS/BF10TPL4W のみ）	44
9 OSD（ディスプレイ設定メニュー）	47
9-1 PICTURE メニュー	47
9-2 OPTION メニュー	48
10 製品仕様	49

1 はじめに

本書はデジタルサイネージプレーヤー「BrightSign」を内蔵したタッチパネルディスプレイ『Bluefin シリーズ 4』の取扱説明書です。Bluefin シリーズ 4 は BrightSign HD4 相当の再生能力を持ち、USB/GPIO 制御、シリアルコマンドの送受信に対応、WiFi/Beacon モジュール、内蔵ステレオスピーカーを搭載した BrightSign 一体型のタッチパネルディスプレイです。また BS/BF10TPL4W はフレーム部に搭載した LED を BrightSign のプレゼンテーションで緑、赤、または黄色に点灯（消灯）できます。

Bluefin シリーズ 4 はタッチパネルディスプレイと BrightSign で構成されており、本書ではタッチパネルディスプレイ部の説明は **ディスプレイ**、BrightSign 部の説明は **BrightSign** と表記して区別します。

※BS/BF10WT4、BS/BF15WT4 の GPIO ポートは 6 ピン仕様です。STB 型の BrightSign（12 ピン）とは仕様が異なり、接点は入出力合わせて 4 点までになります。BS/BF10TPL4W は内蔵 LED で 2 点を使用するため、入出力合わせて 2 点までになります。

2 同梱品

本製品には下記が同梱されています。はじめに同梱品をご確認ください。

・ BS/BF10WT4、BS/BF15WT4、または BS/BF10TPL4W 本体	1 台
・ AC アダプター	1 個
・ Micro SD カードスロットカバー ※	1 個
・ WiFi アンテナ	1 個

※Micro SD カードスロットカバーは本体に取り付けられた（ネジ止め）状態で出荷されます。

本製品に試供品の Micro SD カードが接続されている場合があります。試供品の Micro SD カードは製品保証の対象外です。また Micro SD カードにデモプレゼンテーションが収録されている場合がありますが、デモプレゼンテーションの内容についてはサポート外となります。

3 各部の名称

3-1 BS/BF10WT4（10.1 インチモデル）

<上部>



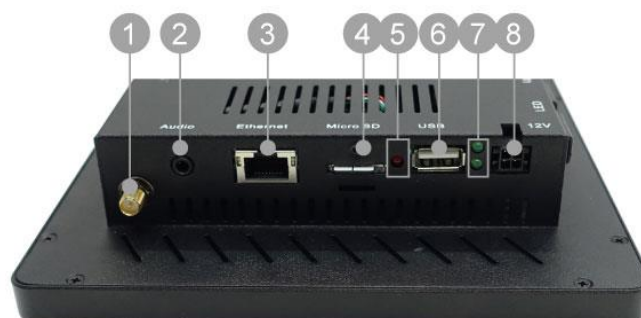
①スピーカー	3W（1.5W + 1.5W）ステレオスピーカー
--------	--------------------------

<下部>



①LED/Update	使用しません。
②SVC	BrightSign の初期化を行う際などに使用します。
③RST	リセットスイッチです。押すと BrightSign が再起動します。
④GPIO	Phoenix 端子 6 ピンの GPIO ポート。接点は入力と出力を合わせて 4 点まで使用することができます。スイッチや LED などを接続できます。
⑤SER	ミニピンジャック形状のシリアルポート。オプションの変換ケーブル（型番：BR/RS232C-015ML）で DA15 形状に変換することができます。
⑥IR	国内では使用しません。

＜右側面＞



①WiFi	付属の WiFi アンテナを接続する専用コネクタです。
②Audio	アナログ・S/PDIF 兼用の 3.5mm ミニピンジャックオーディオ出力端子。スピーカーなどの音響機器を接続します。
③Ethernet	PoE+対応 1000BASE-T の有線 LAN ポート
④Micro SD	Micro SD カードスロット。出荷時に Micro SD カードスロットカバーが取り付けられています。
⑤Error LED	エラー状態を表します。非対応のファイルを読み込ませるなどした場合に赤く点灯、点滅します。
⑥USB	USB 接続のマウス、キーボードなどを接続することができます。
⑦Power/Busy LED	(上) Power : BrightSign に電源が入ると緑色に点灯します。 (下) Busy : Micro SD カードを読込中に緑色に点灯、点滅します。
⑧12V	付属の AC アダプターを接続します。

❗ Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。

❗ Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

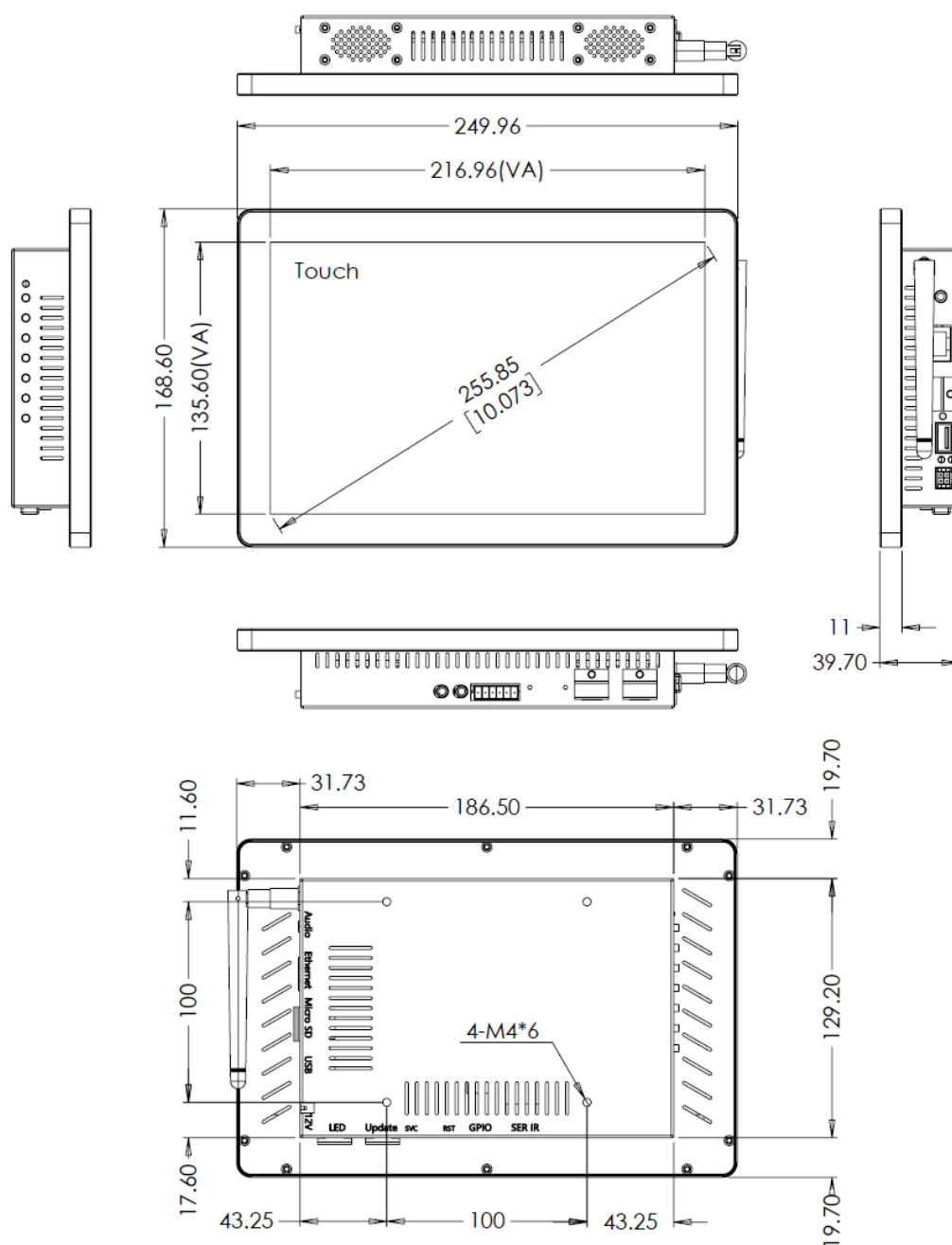
<左側面>



①MENU/EXIT	OSD（On Screen Display=ディスプレイ設定メニュー）※を表示/非表示します。4 回連続で押すと OSD を表示、OSD 表示中に 1 回押すと OSD を非表示にします。OSD を非表示にした後、再度、OSD を表示する際は、5 秒以上の間隔を空けます。OSD 操作中に押すと 1 つ前の項目に戻ります。
②UP/DOWN	OSD 表示中に、項目を選択する際に使用します。UP で上の項目に、DOWN で下の項目に移動します。
③VOL-/VOL+	ボリュームの上げ下げ、OSD のメニューの選択に使用します。OSD 非表示の状態では VOL-を押すとボリュームが下がり、VOL+を押すとボリュームが上がります。OSD 表示中は VOL-で左の項目に、VOL+で右に移動します。
④SELECT	OSD 表示中に選択した項目を決定する場合に押します。
⑤ON/OFF	ディスプレイの電源を ON/OFF します。OFF にしても <u>BrightSign</u> の電源は OFF にはなりません。
⑥電源 LED	通電があると緑色に点灯します。 ディスプレイ が OFF の状態で ON/OFF ボタンを押すと、短い時間、赤く点灯した後、緑色に戻ります。

※OSD の設定項目の詳細は **9 OSD（ディスプレイ設定メニュー）** 参照

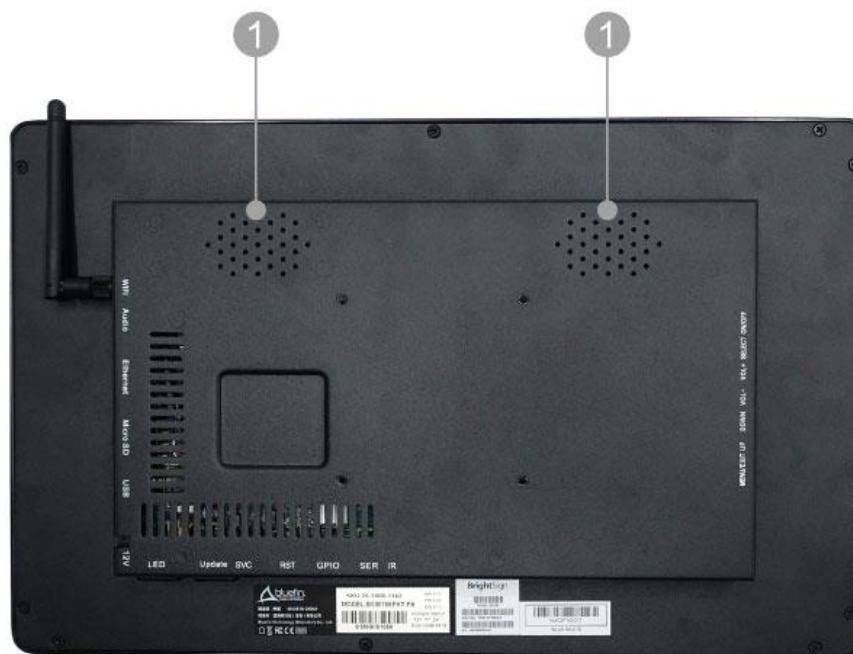
<図面>



※BS/BF10WT4（10.1 インチモデル）は VESA 100x100 ピッチマウントに対応します。

3-2 BS/BF15WT4（15.6 インチモデル）

<背面>



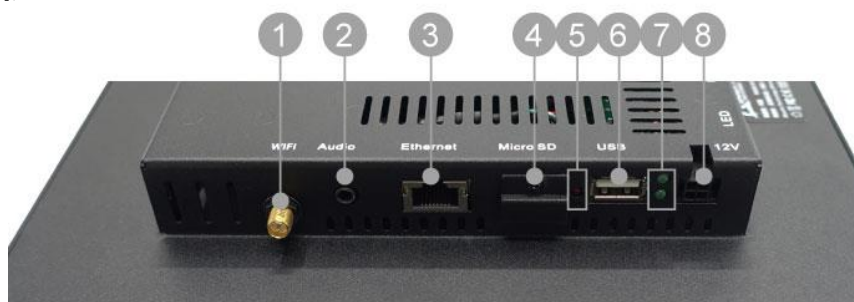
①スピーカー	3W（1.5W + 1.5W）ステレオスピーカー
--------	--------------------------

<下部>



①LED/Update	使用しません。
②SVC	BrightSign の初期化を行う際などに使用します。
③RST	リセットスイッチです。押すと BrightSign が再起動します。
④GPIO	Phoenix 端子 6 ピンの GPIO ポート。接点は入力と出力を合わせて 4 点まで使用することができます。スイッチや LED などを接続できます。
⑤SER	ミニピンジャック形状のシリアルポート。オプションの変換ケーブル(型番: BR/RS232C-015ML) で DA15 形状に変換することができます。
⑥IR	国内では使用しません。

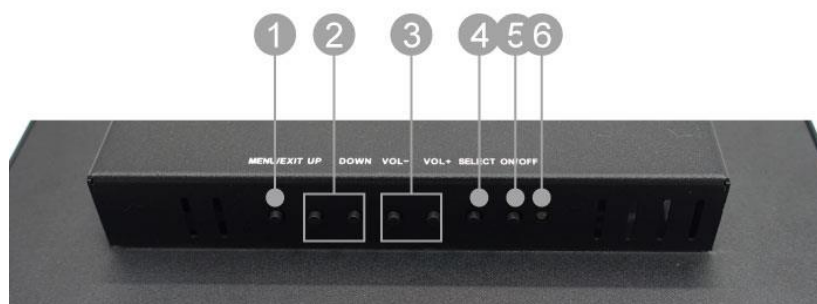
<右側面>



①WiFi	付属の WiFi アンテナを接続する専用コネクタです。
②Audio	アナログ・S/PDIF 兼用の 3.5mm ミニピンジャックオーディオ出力端子。スピーカーなどの音響機器を接続します。
③Ethernet	PoE+対応 1000BASE-T の有線 LAN ポート
④Micro SD	Micro SD カードスロット。出荷時に Micro SD カードスロットカバーが取り付けられています。
⑤Error LED	エラー状態を表します。非対応のファイルを読み込ませるなどした場合に赤く点灯、点滅します。
⑥USB	USB 接続のマウス、キーボードなどを接続することができます。
⑦Power/Busy LED	(上) Power : BrightSign に電源が入ると緑色に点灯します。 (下) Busy : Micro SD カードを読み込中に緑色に点灯、点滅します。
⑧12V	付属の AC アダプターを接続します。

- ❗ Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。
- ❗ Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

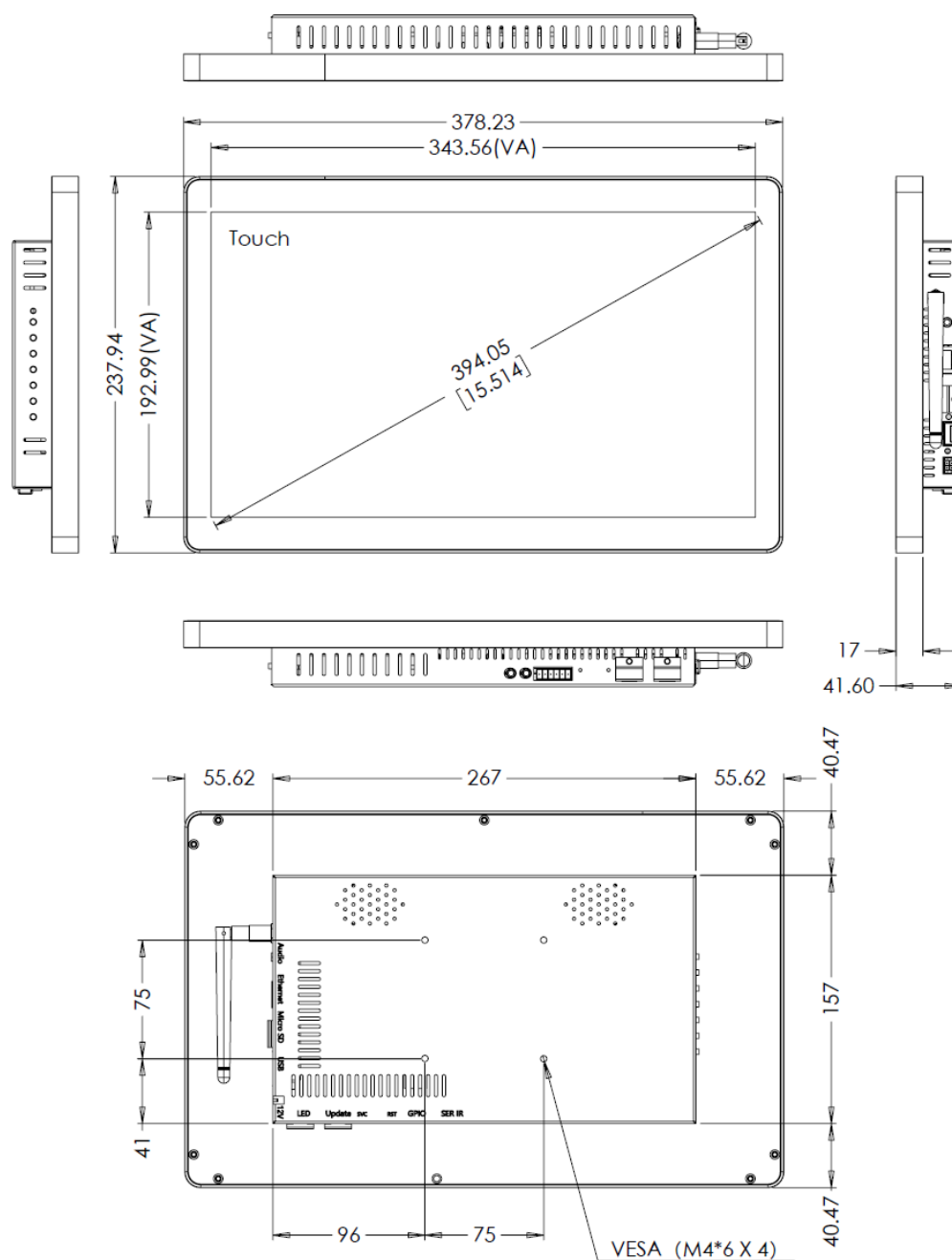
<左側面>



①MENU/EXIT	OSD（On Screen Display=ディスプレイ設定メニュー）※を表示/非表示します。4 回連続で押すと OSD を表示、OSD 表示中に 1 回押すと OSD を非表示にします。OSD を非表示にした後、再度、OSD を表示する際は、5 秒以上の間隔を空けます。OSD 表示中に押すと 1 つ前の項目に戻ります。
②UP/DOWN	OSD 表示中に、項目を選択する際に使用します。UP で上の項目に、DOWN で下の項目に移動します。
③VOL-/VOL+	ボリュームの上げ下げ、OSD のメニューの選択に使用します。OSD 非表示の状態で VOL-を押すとボリュームが下がり、VOL+を押すとボリュームが上がります。OSD 表示中は VOL-で左の項目に、VOL+で右に移動します。
④SELECT	OSD による設定の際に、選択を決定する場合に押します。
⑤ON/OFF	ディスプレイの電源を ON/OFF します。OFF にしても <u>BrightSign</u> の電源は OFF にはなりません。
⑥電源 LED	通電があると緑色に点灯します。 ディスプレイ を OFF にしている際に ON/OFF ボタンを押すと、短い時間、赤く点灯した後、緑色に戻ります。

※OSD の設定項目の詳細は **9 OSD（ディスプレイ設定メニュー）** 参照

<図面>



※BS/BF15WT4（15.6 インチモデル）は VESA 75x75 ピッチマウントに対応します。

3-3 BS/BF10TPL4W（10.1 インチ、LED 内蔵モデル）

<上部>



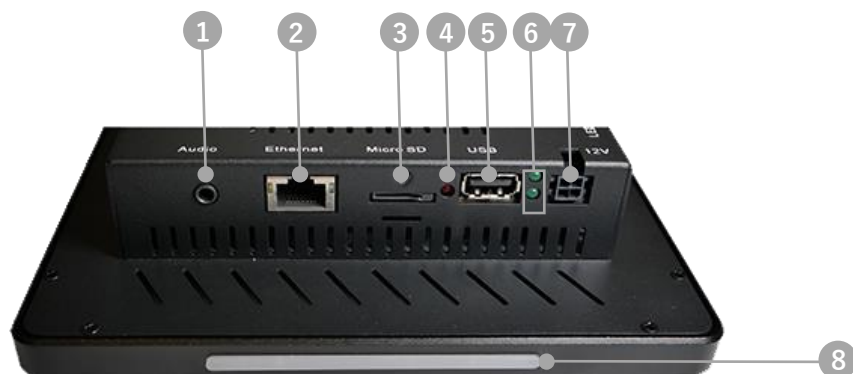
①スピーカー	3W（1.5W + 1.5W）ステレオスピーカー
②WiFi	付属の WiFi アンテナを接続する専用コネクタです。アンテナを取り付ける場合は時計回りに、取り外す場合は反時計回りにアンテナを回します。
③LED	GPIO 制御で緑、赤、黄色に点灯、または消灯させることができます。

<下部>



①LED/Update	使用しません。
②SVC	BrightSign の初期化を行う際に使用します。
③PS_ON	電源を入れ直します。押すと BrightSign とディスプレイの電源が落ち、離すと電源が入ります。（押し続けると電源が切れたままになります。）
④RST	リセットスイッチです。押すと BrightSign が再起動します。
⑤GPIO	Phoenix 端子 6 ピンの GPIO ポート。接点は入力と出力を合わせて 4 点まで使用することができます。スイッチや LED などを接続できます。
⑥SER	ミニピンジャック形状のシリアルポート。オプションの変換ケーブル(型番: BR/RS232C-015ML) で DA15 形状に変換することができます。
⑦IR	国内では使用しません。
⑧LED	GPIO 制御で緑、赤、黄色に点灯、または消灯させることができます。

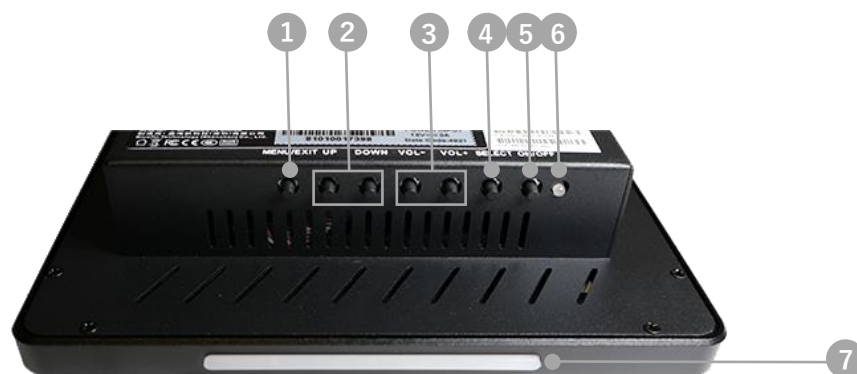
＜右側面＞



①Audio	アナログ・S/PDIF 兼用の 3.5mm ミニピンジャックオーディオ出力端子。スピーカーなどの音響機器を接続します。
②Ethernet	PoE+対応 1000BASE-T の有線 LAN ポート
③Micro SD	Micro SD カードスロット。出荷時に Micro SD カードスロットカバーが取り付けられています。
④Error LED	エラー状態を表します。非対応のファイルを読み込ませるなどした場合に赤く点灯、点滅します。
⑤USB	USB 接続のマウス、キーボードなどを接続することができます。
⑥Power/Busy LED	(上) Power : BrightSign に電源が入ると緑色に点灯します。 (下) Busy : Micro SD カードを読込中に緑色に点灯、点滅します。
⑦12V	付属の AC アダプターを接続します。
⑧LED	GPIO 制御で緑、赤、黄色に点灯、または消灯させることができます。

- ❗ Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。
- ❗ Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

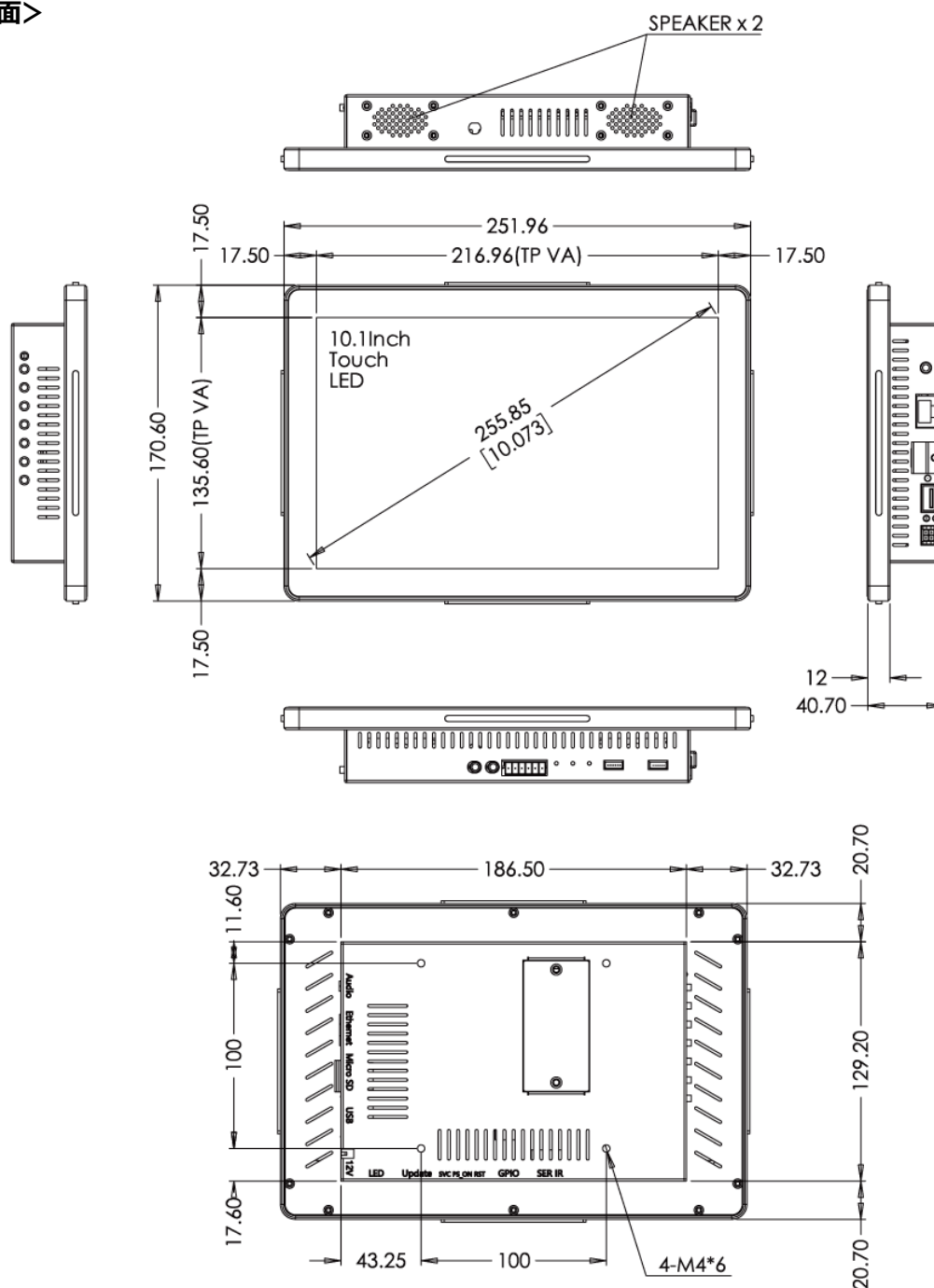
<左側面>



①MENU/EXIT	OSD (On Screen Display=ディスプレイ設定メニュー) ※を表示/非表示します。4 回連続で押すと OSD を表示、OSD 表示中に 1 回押すと OSD を非表示にします。OSD を非表示にした後、再度、OSD を表示する際は、5 秒以上の間隔を空けます。OSD 操作中に押すと 1 つ前の項目に戻ります。
②UP/DOWN	OSD 表示中に、項目を選択する際に使用します。UP で上の項目に、DOWN で下の項目に移動します。
③VOL-/VOL+	ボリュームの上げ下げ、OSD のメニューの選択に使用します。OSD 非表示の状態で VOL-を押すとボリュームが下がり、VOL+を押すとボリュームが上がります。OSD 表示中は VOL-で左の項目に、VOL+で右に移動します。
④SELECT	OSD 表示中に選択した項目を決定する場合に押します。
⑤ON/OFF	ディスプレイの電源を ON/OFF します。OFF にしても <u>BrightSign</u> の電源は OFF にはなりません。
⑥電源 LED	通電があると緑色に点灯します。 ディスプレイ が OFF の状態で ON/OFF ボタンを押すと、短い時間、赤く点灯した後、緑色に戻ります。
⑦LED	GPIO 制御で緑、赤、黄色に点灯、または消灯させることができます。

※OSD の設定項目の詳細は **9 OSD (ディスプレイ設定メニュー)** 参照

<図面>

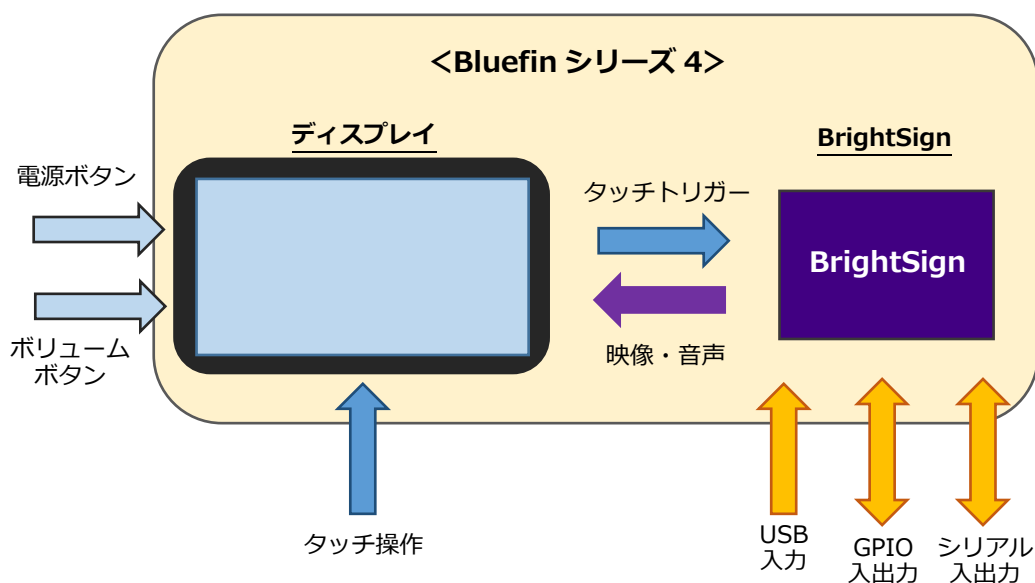


※BS/BF10TPL4W は VESA 100x100 ピッチマウントに対応します。

4 Bluefin シリーズ 4 の仕組み

Bluefin シリーズ 4 はサインエージの処理を行う **BrightSign** と映像表示とタッチ操作の受け付けを行う **ディスプレイ** を一体化した製品です。一部の操作、動作については **BrightSign** と **ディスプレイ** が連動しません。例えば、本機の電源ボタン（ON/OFF ボタン）は **ディスプレイ** の電源のみを ON/OFF します。**BrightSign** の電源は ON/OFF されません（**BrightSign** の電源は通電がある限り常に ON となります）。

下図は Bluefin シリーズ 4 の仕組みと動作の連動を示したものです。



電源ボタンは **ディスプレイ** の電源のみを ON/OFF します。**ディスプレイ** のタッチパネルへのタッチ操作は **BrightSign** にトリガーとして送られ、**BrightSign** の制御に使用できますが、USB、GPIO、シリアル の外部トリガーは **BrightSign** の制御のみに使用できるものであり、外部機器からのシリアルコマンドで **ディスプレイ** の制御（電源の ON/OFF 等）を行うことはできません。GPIO、シリアルは出力にも対応しており、LED の点灯やシリアルコマンドの送出が可能です。**BrightSign** は映像・音声情報を **ディスプレイ** に送り、**ディスプレイ** に映像が表示され、スピーカーより音声を出します。

AC アダプターが電源に接続され通電があると、先に **ディスプレイ** が起動して **ディスプレイ** に「NO SIGNAL」と表示されます。その後、**BrightSign** が起動し、BrightSign ロゴを表示した後、再生を開始します。

BS/BF10TPL4W は本体フレームの上下左右に LED を搭載し、**BrightSign** の GPIO 制御で点灯、消灯を行うことができます。尚、BS/BF10TPL4W の GPIO ポートは 2 点（GPIO0/GPIO1）のみ使用することができます。GPIO2/GPIO3 に機器を接続すると LED が正常に動作しません。

5 BrightSign OS のアップデート

BrightSign は独自 OS の BrightSign OS で動作します。OS をアップデートすることで、新しい機能の追加、特定条件で発生する問題を修正することがあります。また、新しいバージョンの BrightAuthor を使用する場合に OS のアップデートが必須となる場合があります。**本機を使用する前に必ず OS を最新バージョンにアップデートしてください。また出荷時のバージョンより古い OS で上書きを行わないでください。** 不具合が生じる場合があります。

5-1 バージョンの確認

BrightSign OS のバージョンはディスプレイに表示できます。**Micro SD カードが接続されていない状態**で AC アダプターを接続して電源を入れると、BrightSign のロゴと OS のバージョンが表示されます。

(例) v8.0.119

5-2 アップデートファイルのダウンロード

BrightSign 社の Web サイトより最新の BrightSign OS のアップデートファイルをダウンロードすることができます。**BrightSign Built-in SOC Series4 (HS124) 用**のファイルをダウンロードしてください。

<https://www.brightsign.biz/downloads/overview>

5-3 アップデート手順

①ダウンロードした Zip ファイルを解凍してフォルダーを開きます。

②アップデートファイル（拡張子が.bsfw のファイル）を Micro SD カードにコピーします。

(例) brightsign-hs4-x.x.xxx-update.bsfw (x.x.xxx はバージョン名)

③Micro SD カードを本体に接続し、AC アダプターを接続して電源を入れると、Pwr LED が点灯し、Bsy LED が点滅します。その後、Err LED が連続で点滅し、ディスプレイにはアップデートが実行されていることを表すオレンジ色のバーが表示されます。

④Err LED の点滅が終わるとアップデートは完了です。アップデートは通常は 3 分程度で終了しますが、OS のバージョンによりアップデートに要する時間が異なる場合があります。

⑤Micro SD カードを取り外して、RESET ボタンを押して再起動させます。OS のバージョンによってはアップデート後、自動で再起動する場合があります。再起動後に Micro SD カードを取り外してください。

6 BrightAuthor

BrightAuthor（ブライトオーサー）は **BrightSign** で再生するプレゼンテーションを作成するための専用オーサリングソフトです。本書では BrightAuthor のインストール手順、プレゼンテーションを作成する際のポイント、BrightSign を初期設定するためのセットアップファイルの作成について説明するものとします。BrightAuthor の詳細については別紙の BrightAuthor 取扱説明書を参照してください。

6-1 BrightAuthor のインストール

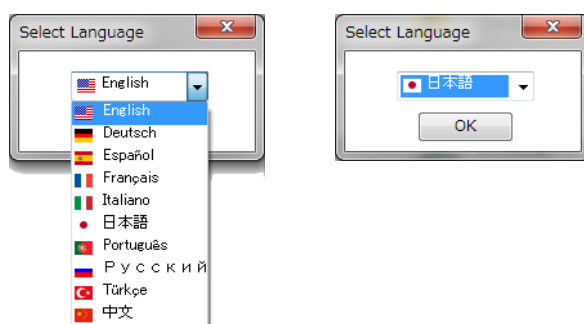
1. 下記より BrightAuthor のインストーラーをダウンロードし、デスクトップなどに保存します。

<https://jmgs.jp/support/downloads/brightsign.html>

【BrightAuthor の動作環境】

- ・ 2.3GHz 以上の CPU
- ・ 2GB 以上のメモリー（4GB 以上を推奨）
- ・ 100MB 以上のハードディスク空き容量
動画、静止画の素材をコンピューターに保存する場合は十分な空き容量が必要です。
- ・ 対応 OS : Windows 8（64bit 推奨）、Windows 10（64bit 推奨）
BrightAuthor のインストールには Net Framework 4.6 以降が必要です。

2. インストーラー“BrightAuthor.X.X.X.XX.setup.exe（X.X.X.XX はバージョン名）”をダブルクリックして起動します。Select Language でユーザーインターフェースの言語を選択します。日本語表示を使用するには日本語を選択して OK をクリックしてインストールします。



BrightAuthor の使い方について

BrightAuthor の詳しい使い方については、BrightAuthor の取扱説明書やビデオをご確認ください。

BrightAuthor 取扱説明書/使い方ビデオ

<https://jmgs.jp/support/downloads/brightsign.html>

6-2 BrightAuthor 設定のポイント

BrightAuthor でプレゼンテーションを作成する際は本製品の仕様に合わせて設定を行います。

BrightSign のモデル名

新規プレゼンテーション作成の際、新規プロジェクトウィンドウの BrightSign モデルでは **HS124** を選択してください。

画面の解像度

モデルによりディスプレイの解像度が異なります。解像度の設定は 15.6 インチモデルの BS/BF15WT4 は 1920x1080x60p を、10.1 インチモデルの BS/BF10WT4、BS/BF10TPL4W は 1280x800x60p を選択します。BS/BF10WT4、BS/BF10TPL4W は 1920x1200x60p、1920x1080x60p などの解像度を選択した場合もディスプレイがスケーリングして表示することができますが 1920x1200 サイズの動画の再生はサポート外です。

音声出力の設定

Audio (3.5mm ミニピンジャックオーディオ) からアナログ音声を出力する場合は、ゾーンのプロパティのオーディオ出力の設定でアナログステレオにチェックを入れます。HDMI にチェックを入れ、ステレオを選択すると内蔵スピーカーから音声を出力します。アナログステレオ、HDMI の両方にチェックを入れると、Audio と内蔵スピーカーに同時に出力します。**本製品の VOL-/VOL+ボタンは内蔵スピーカーのボリュームのみ調整することができます。**Audio 出力のボリュームを調整するには、BrightAuthor の設定でボリュームを変更するか、Audio に接続した音響機器側のボリュームで調整します。

7 セットアップ

プレゼンテーションをネットワーク経由で更新する場合は、**BrightSign** のセットアップが必要です。以下の **7-2 設定ファイルによるセットアップ**、**7-3 BrightSign Device Setup** の **いずれかの方法** でセットアップを実行してください。

7-1 セットアップ不要のケース

Micro SD カードの差し替えによる更新（スタンドアロン＝ローカルストレージへの書き出し）の場合、通常はセットアップは不要です。BrightAuthor でプレゼンテーションを作成し、書き出したファイルを Micro SD カードにコピーして本体の Micro SD カードスロットに接続します。本体に AC アダプターを接続して電源を入れます。起動後、画面に BrightSign のロゴを表示した後、再生を開始します。

スタンドアロン更新の場合でも、ネットワークへの接続を要する場合（タイムサーバーへのアクセス、HTML5 表示などを行う場合）はセットアップが必要になります。

7-2 設定ファイルによるセットアップ

BrightAuthor で作成した設定ファイル（セットアップファイル）を本体に読み込ませる方法です。本書ではセットアップに必須となる項目のみ説明します。詳細は BrightAuthor の取扱説明書を参照願います。

- ①BrightAuthor を起動してネットワーク更新機能を有効にします。（一度、有効に設定すると、次回以降の設定は不要です。設定が不要な場合は②へ進みます。）

ネットワーク更新機能の有効化

編集タブを開いた状態で メニューの編集(E) > 環境設定(P) の順に開き、環境設定の編集ウィンドウで ネットワーキングタブを開きます。使用する更新方法に応じて下記の□のいずれかにチェックを入れ、ウィンドウを閉じます。

☐BrightSign Network を有効にする

BrightSignNetwork.jp を使用する場合にチェックを入れます。BrightSignNetwork.jp は有料のクラウドサービスです。ご利用にはサブスクリプションの購入が必要です。

☐BrightSign ローカルネットワーキングを有効にする

BrightAuthor をインストールしたパソコンと BrightSign を LAN（同一セグメントのネットワーク）に接続してプッシュ形式で更新を行う場合に選択します。

☐シンプルネットワーキングを有効にする

Web サーバー（Web フォルダー）を利用して更新を行う場合に有効にします。

- ②メニューのツール(T) > BrightSign ユニットの設定 の順に開きます。BrightSign ユニットの設定ウィンドウが開くので以下の項目の設定を行います。必須項目のみ説明します。

- ・名前の設定（プレーヤーに名前を設定します）

名前

プレーヤーを識別するための名前を設定します。英数字で設定します。入力しなくても設定ファイルを作成できますが、ローカルファイルネットワーキングを使用する場合は入力してください。

- ・ネットワークのプロパティ（ネットワーク接続に関する設定を行います）

□無線を有効化

WiFi を使用する場合はチェックを入れ、SSID とセキュリティキーを入力します。

詳細ネットワーク設定

ボタンをクリックして詳細ネットワーク設定ウィンドウを開きます。LAN の詳細な設定を行います。

有線タブ

有線 LAN に関する設定を行います。設定後は“OK”をクリックしてウィンドウを閉じます。



接続設定

○IP アドレスを自動的に取得

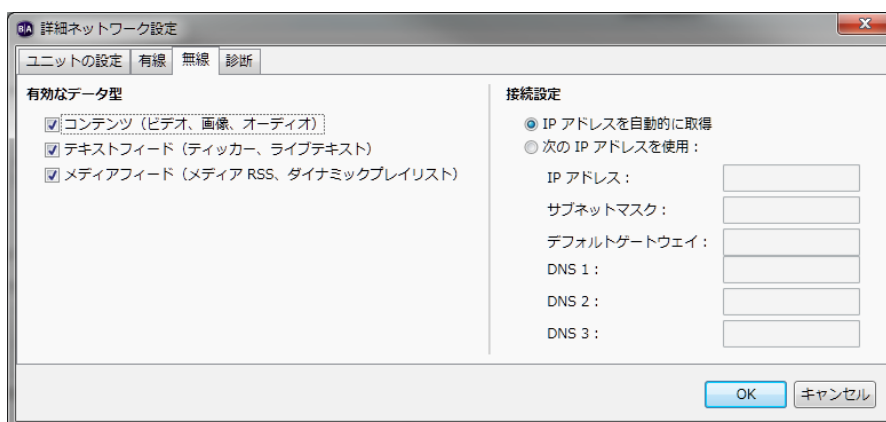
IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。

○次の IP アドレスを使用

IP アドレスをマニュアルで設定する場合はチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を入力します。

無線タブ

無線 LAN に関する設定を行います。**ネットワークのプロパティ**の□無線を有効化にチェックを入れていないと選択できません。設定後は“OK”をクリックしてウィンドウを閉じます。



接続設定

○IP アドレスを自動的に取得

IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。

○次の IP アドレスを使用

IP アドレスをマニュアルで設定する場合はチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を入力します。

・ユニットの設定（プレゼンテーションの更新方法に関する設定を行います）

スタンドアロン、ローカルファイルネットワーキング、BrightSign Network、シンプルファイルネットワーキングより更新方法を選択します。

○スタンドアロン

スタンドアロン（Micro SD カードの差し替え）で更新を行う場合に選択します。

○ローカルファイルネットワーキングでネットワーク接続

LAN 経由の更新を行う場合に選択します。BrightAuthor をインストールしたパソコンと BrightSign を LAN（同一セグメントのネットワーク）で接続し、プッシュ形式で更新を行います。

○BrightSign Network でネットワーク接続

クラウドサービス『BrightSignNetwork.jp』を使用して更新を行う場合に選択します。

○グループ

グループに加える場合はチェックを入れ、参加するグループを選択します。

○BrightWall グループ

BrightWall を使用する場合はチェックを入れ、BrightWall グループ、BrightWall 名、画面番号を選択します。

コンテンツ確認頻度

サーバーへのアクセス頻度を選択します。[5 分/30 分/1 時間/6 時間/12 時間/24 時間]

死活監視間隔

死活監視の間隔を選択します。[5 分/15 分/30 分/1 時間/6 時間/12 時間/24 時間]

○シンプルファイルネットワーキングでネットワーク接続

Web フォルダ（サーバー）を利用した更新を行う場合にチェックを入れます。インターネットを介した更新も可能です。書き出したファイルを Web フォルダにアップロードし、BrightSign は Web フォルダにアクセスして必要なファイルをダウンロードします。

● シンプルファイルネットワーキングでネットワーク接続

Web フォルダの URL : (例 : http://www.brightsign.com/files/)

コンテンツ確認頻度 : 5 分ごと

シンプルファイルネットワーク認証 (オプション)

ユーザー名 :

パスワード :

☐ ベーシック認証を有効にする

Web フォルダの URL

アクセスさせる Web フォルダのアドレスを入力します。

コンテンツ確認頻度

コンテンツの更新を確認する頻度を選択します。[5 分/30 分/1 時間/6 時間/12 時間/24 時間]

シンプルファイルネットワーク認証 (オプション)

ダイジェスト認証が必要な場合は、ユーザー名、パスワードを入力します。

☐ ベーシック認証を有効にする

ベーシック認証を有効にする場合にチェックを入れます。セキュリティで保護されていないパケットで認証情報を渡すため、サーバーの構成により使用が必須である場合のみ有効にします。

以上で必要な設定は終了です。 **設定ファイルの作成** をクリックして保存先を指定し、設定ファイルを作成します。

- ③作成した設定ファイルを Micro SD カードにコピーします。Micro SD カードを本体に接続し、AC アダプターを接続して電源を入れると自動的に読み込み、ネットワーク更新の待受状態になります。

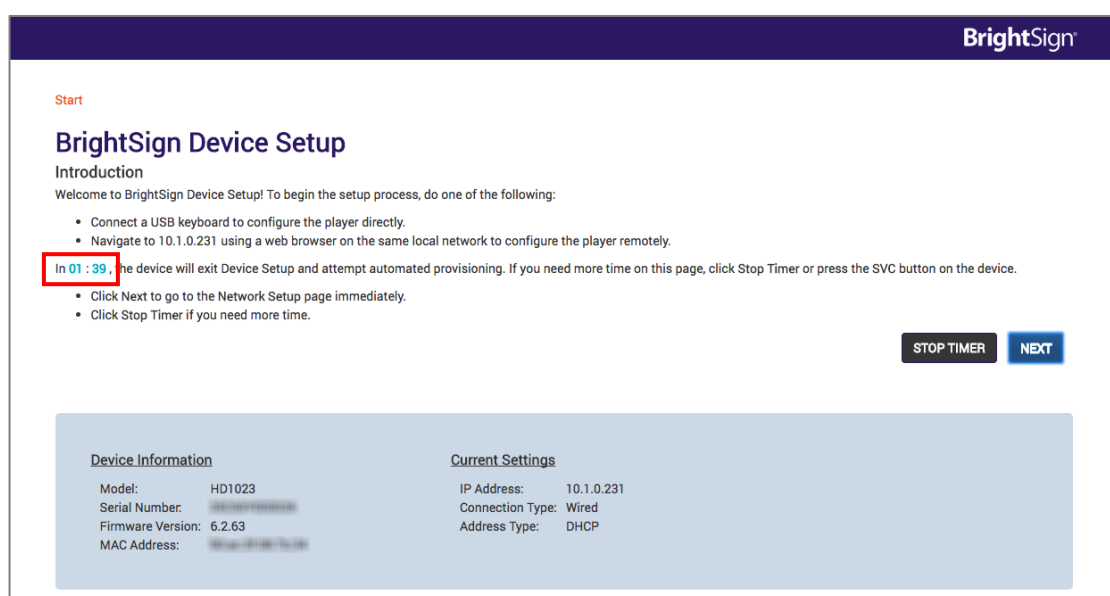
7-3 BrightSign Device Setup によるセットアップ

ディスプレイにセットアップメニューを表示して設定を行うことができます。セットアップのためには USB キーボードが必要です。USB キーボードは**電源を入れる前に** USB ポートに接続してください。

データが保存されていない空の Micro SD カードを本体に接続し、AC アダプターを接続して電源を入れると ディスプレイに BrightSign Device Setup 画面が表示されます。

BrightSign Device Setup（初期画面）

BrightSign Device Setup では画面のタッチ、キーボードの入力で設定を進めます。



Device Setup 画面が表示されると 2 分間のカウントダウン（赤枠内）を始めます。カウントダウンが終了すると **BrightSign** が再起動します。

STOP TIMER

カウントダウンを停止します。

NEXT

次の設定に進みます。

BrightSign Device Setup（設定の選択画面）

Start -> Network Setup

BrightSign Device Setup

Network Setup
Select a networking option for your BrightSign device:

ETHERNET Connect to a wired network. Choose this option if you plan to publish to the device remotely or use remote assets in your presentations.

WIFI Connect to a wireless network. Choose this option if you plan to publish to the device remotely or use remote assets in your presentations.

NO NETWORKING Configure the device without networking. If you choose this configuration, the device will be setup as a Standalone device (i.e. you will publish content directly using an SD card or other storage device).

PLAY MEDIA FILES Play media files from the on-board storage (e.g. SD card) without further configuration.

[BACK](#)

Device Information		Current Settings	
Model:	HD1023	IP Address:	10.1.0.231
Serial Number:	XXXXXXXXXXXX	Connection Type:	Wired
Firmware Version:	6.2.63	Address Type:	DHCP
MAC Address:	XXXXXXXX:XX:XX:XX:XX:XX		

ネットワークへの接続方法を選択します。タッチして選択し、設定を進めます。

ETHERNET

有線 LAN 接続を使用してプレゼンテーションの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(1) Ethernet Settings（有線 LAN の設定）**に進みます。

WIFI

無線 LAN 接続を使用してプレゼンテーションの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(3) Wireless Setup（無線 LAN の設定）**に進みます。

NO NETWORKING

ネットワーク接続を使用しない場合に選択します。Micro SD カードの差し替えでコンテンツの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(13) Standalone（スタンドアロンの設定）**に進みます。

PLAY MEDIA FILES

選択すると Micro SD カード内にあるファイルを読み込み、表示を行います。BrightAuthor による書き出しを行わず、動画や静止画を Micro SD カードに直接コピーして使用する場合に選択します。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

(1) Ethernet Settings (有線 LAN の設定)

Start -> Network Setup -> Ethernet

BrightSign Device Setup

Ethernet Settings

The device has connected to the local network automatically. Select Use Current Settings to use the automated configuration, or select Change Settings to manually configure network settings.

Current Settings

IP Address:	10.1.0.231
Connection Type:	Wired
Address Type:	DHCP
Subnet:	255.255.255.0
Broadcast:	10.1.0.255
Gateway:	10.1.0.1
DNS:	10.1.0.25, 10.1.0.35
Host Name:	BrightSign-XXXXXXXXXX

BACK USE CURRENT SETTINGS CHANGE SETTINGS

有線 LAN の設定を行います。DHCP サーバーと接続可能な場合は、ネットワークに自動的に接続し、現在の設定が **Current Settings** に表示されます。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

USE CURRENT SETTINGS

DHCP の設定を使用します。⇒ (5) **Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

CHANGE SETTINGS

マニュアルで設定する場合、または DHCP に接続できない場合に選択します。

⇒ (2) **Change Ethernet Settings** に進みます。

(2) Change Ethernet Settings (LAN 接続の変更)

Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings

BrightSign Device Setup

Change Ethernet Settings

IP Address

☐ Obtain an IP address automatically

☒ Use the following IP address

IP Address: 10.1.0.231

Subnet mask: 255.255.255.0

Default gateway: 10.1.0.1

DNS Servers: 10.1.0.25, 10.1.0.35

Proxy

☐ Use proxy

Time Server

☐ Set Time Server

BACK NEXT - NETWORK DIAGNOSTICS

マニュアルでネットワークの設定を行います。

IP Address

☐ Obtain an IP address automatically

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

☒ Use the following IP address

マニュアルで IP アドレスを設定する場合はチェックを入れ、IP Address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS Servers (DNS サーバー) のアドレスを入力します。

Proxy

☐ Use proxy

プロキシを使用する場合はチェックを入れます。

Address

プロキシのアドレスを入力します。プロキシのユーザー名とパスワードを入力する場合、以下の形式を使用します。<ユーザー名 : パスワード@プロキシサーバーのアドレス>

(例) admin:root@myproxy.com

Port

プロキシのポート番号を入力します。

Time Server☐ **Set Time Server**

タイムサーバーを変更する場合にチェックを入れます。

URL

タイムサーバーのアドレスを入力します。初期設定では BrightSign 社のタイムサーバーのアドレスが入力されています。

BACK

ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS

次の設定に進みます。⇒ **(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(3) Wireless Setup (無線 LAN の設定)

無線 LAN の設定を行います。

SSID

ドロップボックスから接続するワイヤレスネットワークの SSID を選択します。

Security Key

ワイヤレスネットワークのセキュリティキー (パスワード) を入力します。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

ADVANCED

マニュアルで IP アドレス、プロキシサーバー、ホスト名等を設定します。

⇒ **(4) Advanced Wireless Setup (無線 LAN の詳細設定)** に進みます。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS

IP アドレスを DHCP から自動取得する場合に選択します。

⇒ **(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(4) Advanced Wireless Setup (無線 LAN の詳細設定)

IP Address

☐ **Obtain an IP address automatically**

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

☐ **Use the following IP address**

マニュアルで IP アドレスを設定します。チェックを入れて、IP Address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS Servers (DNS サーバー) のアドレスを入力します。

Proxy

Address

プロキシのアドレスを入力します。プロキシのユーザー名とパスワードを入力する場合、以下の形式を使用します。〈ユーザー名 : パスワード@プロキシサーバーのアドレス〉
(例) admin:root@myproxy.com

Port

プロキシのポート番号を入力します。

Time Server

☐ **Set Time Server**

タイムサーバーを変更する場合にチェックを入れます。

URL

タイムサーバーのアドレスを入力します。初期設定では BrightSign 社のタイムサーバーのアドレスが入力されています。

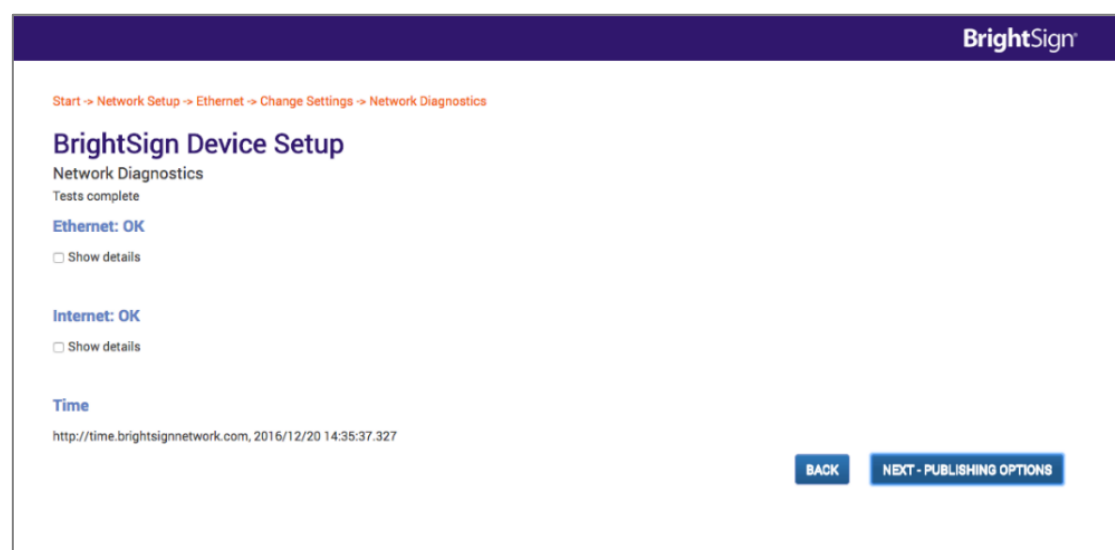
BACK

ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS

次の設定に進みます。⇒ (5) Network Diagnostics (ネットワークの診断) に進みます。

(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)



有線 LAN、または無線 LAN への接続テストを行います。接続に成功すると、続けてインターネットへの接続テストを行います。[Show details](#) にタッチするとテスト結果の詳細を確認できます。

NEXT-PUBLISHING OPTIONS

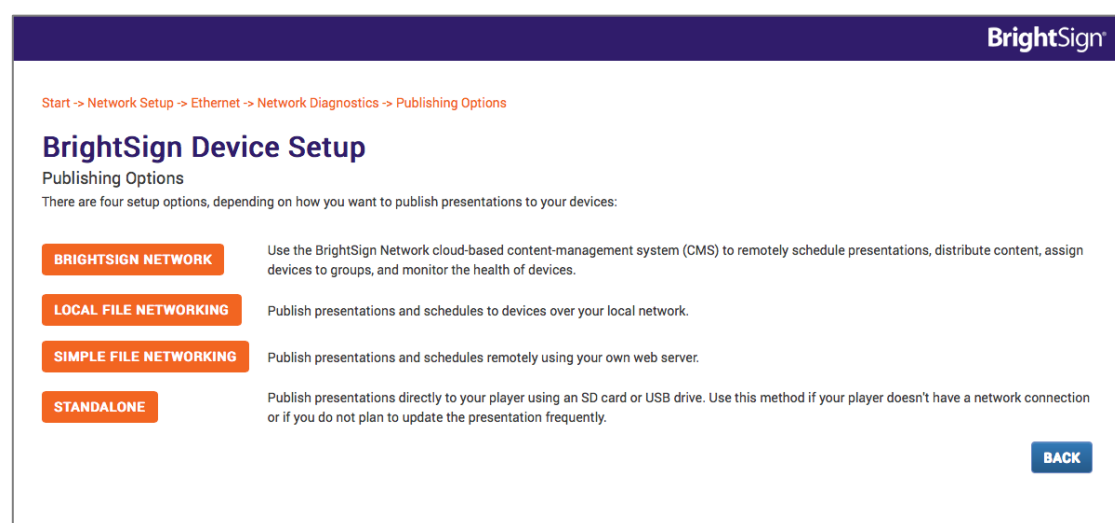
接続に成功した場合はタッチして次の設定に進みます。

⇒ (6) Publishing Options (書き出しの設定) に進みます。

BACK

接続に失敗した場合は BACK をタッチしてひとつ前の設定画面に戻り、設定を見直します。

(6) Publishing Options (書き出しの設定)



BrightSign の更新方法 (BrightSign への 書き出し) に関する設定を行います。

BRIGHTSIGN NETWORK

使用しません。BrightSignNetwork.jp は 7-2 設定ファイルによるセットアップ で設定します。

LOCAL FILE NETWORKING

PC から LAN 経由で更新する場合に選択します。

⇒ (7) Local File Networking (ローカルファイルネットワーキングの設定) に進みます。

SIMPLE FILE NETWORKING

Web フォルダ (サーバー) を利用して更新する場合に選択します。

⇒ (10) Simple File Networking (シンプルファイルネットワーキングの設定) に進みます。

STANDALONE

Micro SD カードや USB メモリーに書き出して更新する場合 (ネットワークを使用しない場合) に選択します。

⇒ (13) Standalone (スタンドアロンの設定) に進みます。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

(7) Local File Networking (ローカルファイルネットワーキングの設定)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' window with the 'Local File Networking - Device Info' tab selected. The breadcrumb trail at the top reads: Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Local File Networking - Device Info. The form contains the following fields and options:

- Device Name:** A text input field with the placeholder 'Enter a name for your device' and a help icon.
- Customization:** Two radio button options: 'Use name only' (unselected) and 'Append device serial' (selected, with a help icon).
- Device Description:** A text input field with a help icon.
- Time zone:** A dropdown menu currently showing 'EST: US Eastern Time' with a help icon.
- Firmware:** A dropdown menu currently showing 'Production Firmware (version 6.2.63)' with a help icon.

At the bottom right of the form are three buttons: 'BACK', 'ADVANCED', and 'FINISH'.

Device Info**Device Name**

名前 (プレーヤー名) を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization

○Append device serial を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。○Use name only を選択すると名前のみ表示します。

Device Description

プレーヤーの設置場所などが分かるようにメモを入力することができます。

Time Zone

タイムゾーンを選択します。

Firmware

BrightSign OS のバージョンを選択する項目ですが、**必ず Current Firmware**（現在のファームウェア）を選択してください。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

ADVANCED

ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(8) NETWORK & SERVER（ネットワークとサーバーの設定）** へ進みます。

FINISH

設定を終了します。

(8) NETWORK & SERVER（ネットワークとサーバーの設定）

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' web interface. The breadcrumb trail at the top reads: 'Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Local File Networking - Device Info -> Local File Networking - Networking & Server'. The main title is 'BrightSign Device Setup' with the subtitle 'Local File Networking - Network & Server'. There are two main sections: 'Network' and 'Server'. In the 'Network' section, there is a checkbox 'Specify Host Name' which is currently unchecked. In the 'Server' section, there are two options: 'Diagnostic Web Server' (checked) and 'Local Web Server' (unchecked). Under 'Diagnostic Web Server', the 'Username' field contains 'admin' and the 'Password' field contains '35C65Y000026'. Under 'Local Web Server', the 'Username' and 'Password' fields are empty, with the password field having a placeholder text 'Enter your password'. At the bottom right, there are three buttons: 'BACK', 'NEXT', and 'FINISH'.

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network☐ **Specify Host Name**

チェックを入れホスト名を入力します。

Server☐ **Diagnostic Web Server**

チェックを入れるとダイアグノスティック Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザーにプレーヤーの IP アドレスを入力してアクセスすることで、再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などを実行できます。パスワードの設定も可能です。ユーザー名は admin で固定です。

☐ **Local Web Server**

チェックを入れるとローカル Web サーバーが有効になります。Web ブラウザー、または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更できます。ユーザー名、パスワードを設定することもできます。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

NEXT

次の設定に進みます。

⇒ **(9) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)** に進みます。

FINISH

設定を終了します。

(9) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' web interface. The breadcrumb trail at the top reads: 'Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Local File Networking - Device Info -> Local File Networking - Networking & Server -> Local File Networking - Logging & Remote Snapshot'. The main title is 'BrightSign Device Setup' with the subtitle 'Local File Networking - Logging & Remote Snapshot'. Under the 'Logging' section, there are four checkboxes: 'Playback', 'State', 'Event', and 'Diagnostic', all of which are currently unchecked. Under the 'Remote Snapshot' section, the 'Enable Remote Snapshot' checkbox is checked. Below this, there are three input fields: 'Capture Interval (minutes):' with a value of 15, 'JPEG Quality Level (1 - 100):' with a value of 50, and 'Number of Snapshots to Keep on Local Storage:' with a value of 5. At the bottom left of this section, there is an unchecked checkbox for 'Display snapshots in portrait mode'. At the bottom right, there are two buttons: 'BACK' and 'FINISH'.

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging

チェックを入れた項目のログ機能を有効にします。使用しない場合はチェックを外します。

☐ **Playback**

再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプ

☐ **State**

タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータ

☐ **Event**

現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプ

☐ **Diagnostic**

タイムスタンプ、BrightSign OS/スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーション名

Remote Snapshot☐ **Enable Remote Snapshot**

リモートスナップショット機能を有効にします。保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

Capture Interval (minutes)

スナップショットを保存する間隔を設定します。単位：分

JPEG Quality Level (1-100)

スナップショットの品質を設定します。

Number of Snapshots to Keep on Local Storage

スナップショットの保存数を設定します。設定した数のスナップショットを保存すると古いものから削除して新しいスナップショットを保存します。

Display snapshots in portrait mode

チェックを入れるとスナップショットをローテート（回転）させて保存します。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

FINISH

設定を終了します。

(10) Simple File Networking (シンプルファイルネットワーキングの設定)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' web interface. At the top, a breadcrumb trail reads: 'Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Simple File Networking - Device Info'. The main heading is 'BrightSign Device Setup' followed by 'Simple File Networking - Device Info'. The form contains several fields: 'Device Name' with a placeholder 'Enter a name for your device'; 'Customization' with two radio buttons, 'Use name only' and 'Append device serial' (which is selected); 'Device Description' with a text area; 'Time zone' with a dropdown menu showing 'EST: US Eastern Time'; 'Firmware' with a dropdown menu showing 'Production Firmware (version 6.2.63)'; and 'URL for web folder' with a placeholder 'e.g., http://www.brightsign.com/files/'. On the right side of each field is a blue question mark icon. At the bottom right are three buttons: 'BACK', 'ADVANCED', and 'FINISH'.

Device Info

Device Name

プレーヤーに名前（プレーヤー名）を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization

○ **Append device serial** を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。○ **Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description

プレーヤーの設置場所などが分かるようにメモを入力することができます。

Time Zone

タイムゾーンを選択します。

Firmware

BrightSign OS のバージョンを選択する項目ですが、**必ず Current Firmware**（現在のファームウェア）を選択してください。

URL for web folder

プレーヤーをアクセスさせる Web サーバー（フォルダー）のアドレスを入力します。アドレスには /（スラッシュ）を使用しないでください。Web サーバーの仕様によりアドレス末尾のスラッシュをサポートしない場合があります。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

ADVANCED

ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(11) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)** へ進みます。

FINISH

設定を終了します。

(11) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' web interface, specifically the 'Simple File Networking - Network & Server' section. The interface is divided into two main panels: 'Network' and 'Server'.

Network Panel:

- Content check frequency:** A dropdown menu set to 'Every 5 minutes'.
- Simple file networking authentication (optional):** A section with fields for 'Username' and 'Password'.
- ☐ **Enable basic authentication**
- ☐ **Specify Host Name**

Server Panel:

- ☒ **Diagnostic Web Server**
- Username:** 'admin'
- Password:** '35C65Y000026'
- ☒ **Local Web Server**
- Username:** (empty field)
- Password:** 'Enter your password'

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network**Content check frequency**

Web サーバーにアクセスする頻度を設定します。

Simple File Networking Configuration

ダイジェスト認証を使用する場合は **User Name**、**Password** を入力します。

☐ **Enable Basic Authentication**

ベーシック認証を有効にします。ベーシック認証を有効にするとセキュリティで保護されていないパケットで Web サーバーに認証情報を渡します。Web サーバーの構成によって使用が必須になる場合のみ使用します。

☐ **Specify Host Name**

ホスト名を指定することができます。

Server☐ **Diagnostic Web Server**

ダイアグノスティック Web サーバーを有効にすると、Web ブラウザーにプレーヤーの IP アドレスを入力してアクセスし、再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などが可能です。パスワードの設定も可能です。ユーザー名は admin で固定です。

☐ **Local Web Server**

ローカル Web サーバーを有効にすると、Web ブラウザー、または BrightSign App でユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定することもできます。

BACK

ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT

次の設定に進みます。

⇒ **(12) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)** に進みます。

FINISH

設定を終了します。

(12) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' interface. At the top, a breadcrumb trail reads: 'Start -> Network Setup -> Ethernet -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Simple File Networking - Device Info -> Simple File Networking - Network & Server -> Simple File Networking - Logging & Remote Snapshot'. The main title is 'BrightSign Device Setup' followed by 'Simple File Networking - Logging & Remote Snapshot'. Under the 'Logging' section, there are four checkboxes: 'Playback', 'State', 'Event', and 'Diagnostic'. Under the 'Remote Snapshot' section, there is one checkbox: 'Enable Remote Snapshot'. At the bottom right, there are two buttons: 'BACK' and 'FINISH'.

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging

チェックを入れた項目のログ機能を有効にします。使用しない場合はチェックを外します。

☐ **Playback**

再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプ

☐ **State**

タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータ

☐ **Event**

現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプ

☐ **Diagnostic**

タイムスタンプ、BrightSign OS/スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーション名

Remote Snapshot☐ **Enable Remote Snapshot**

リモートスナップショット機能を有効にします。保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

Capture Interval (minutes)

スナップショットを保存する間隔を設定します。単位：分

JPEG Quality Level (1-100)

スナップショットの品質を設定します。

Number of Snapshots to Keep on Local Storage

スナップショットの保存数を設定します。設定した数のスナップショットを保存すると古いものから削除し、新しいスナップショットを保存します。

Display snapshots in portrait mode

チェックを入れるとスナップショットをローテート（回転）させて保存します。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

FINISH

設定を終了します。

(13) Standalone（スタンドアロンの設定）

スタンドアロン更新（Micro SD カードの差し替え）を利用する場合、通常はセットアップが不要ですが、ネットワークへの接続が必要な場合（タイムサーバーへのアクセス、HTML5 表示）はセットアップが必要になります。

Device Info**Device Name**

プレーヤーに名前（プレーヤー名）を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization

Append device serial を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。**Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description

プレーヤーの設置場所などが分かるようにメモを入力することができます。

Time Zone

タイムゾーンを選択します。

Firmware

BrightSign OS のバージョンを選択する項目ですが、**必ず Current Firmware**（現在のファームウェア）を選択してください。

BACK

ひとつ前の項目に戻ります。

ADVANCED

ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(14) NETWORK & SERVER（ネットワークとサーバーの設定）**に進みます。

FINISH

設定を終了します。

(14) NETWORK & SERVER（ネットワークとサーバーの設定）

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network☐ **Specify Host Name**

チェックを入れホスト名を入力します。

☐ **Diagnostic Web Server**

ダイアグノスティック Web サーバーを有効にすると、Web ブラウザーにプレーヤーの IP アドレスを入力してアクセスし、再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などが可能です。パスワードを設定することも可能ですが、ユーザー名は admin で固定です。

☐ **Local Web Server**

ローカル Web サーバーを有効にすると、Web ブラウザー、または BrightSign App でユーザー変数を変更することが可能になります。ユーザー名、パスワードも設定できます。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

NEXT

次の設定に進みます。

⇒ **(15) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT（ログとリモートスナップショット）**へ進みます。

FINISH

設定を終了します。

(15) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging

チェックを入れた項目のログ機能を有効にします。使用しない場合はチェックを外します。

☐ Playback

再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプ

☐ State

タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータ

☐ Event

現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプ

☐ Diagnostic

タイムスタンプ、BrightSign OS/スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーション名

Remote Snapshot

☐ Enable Remote Snapshot

リモートスナップショット機能を有効にします。保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

Capture Interval (minutes)

スナップショットを保存する間隔を設定します。単位：分

JPEG Quality Level (1-100)

スナップショットの品質を設定します。

Number of Snapshots to Keep on Local Storage

スナップショットの保存数を設定します。設定した数のスナップショットを保存すると古いものから削除し、新しいスナップショットを保存します。

Display snapshots in portrait mode

チェックを入れるとスナップショットをローテート（回転）させて保存します。

BACK

ひとつ前の画面に戻ります。

FINISH

設定を終了します。

8 LED の制御（BS/BF10TPL4W のみ）

BS/BF10TPL4W はディスプレイのフレームの上下左右に LED を搭載し、**BrightSign** の GPIO 制御で赤、緑、または黄色に点灯させることができます。GPIO2 をオンにすると緑、GPIO3 をオンにすると赤、GPIO2 と GPIO3 を同時にオンにすると黄色に点灯します。消灯させる場合は GPIO2 と GPIO3 をオフにする必要があります。上下左右の LED を個別に点灯させることはできません。LED はプレゼンテーションで GPIO2 と GPIO3 をオフにするまで黄色に点灯します。

BS/BF10TPL4W には GPIO コネクタがありますが、使用できるのは GPIO0 と GPIO1 のみです。GPIO2 と GPIO3 に機器を接続すると、LED が正常に点灯/消灯しません。

LED を点灯させるプレゼンテーションの例を説明します。以下の動作をさせるものとします。

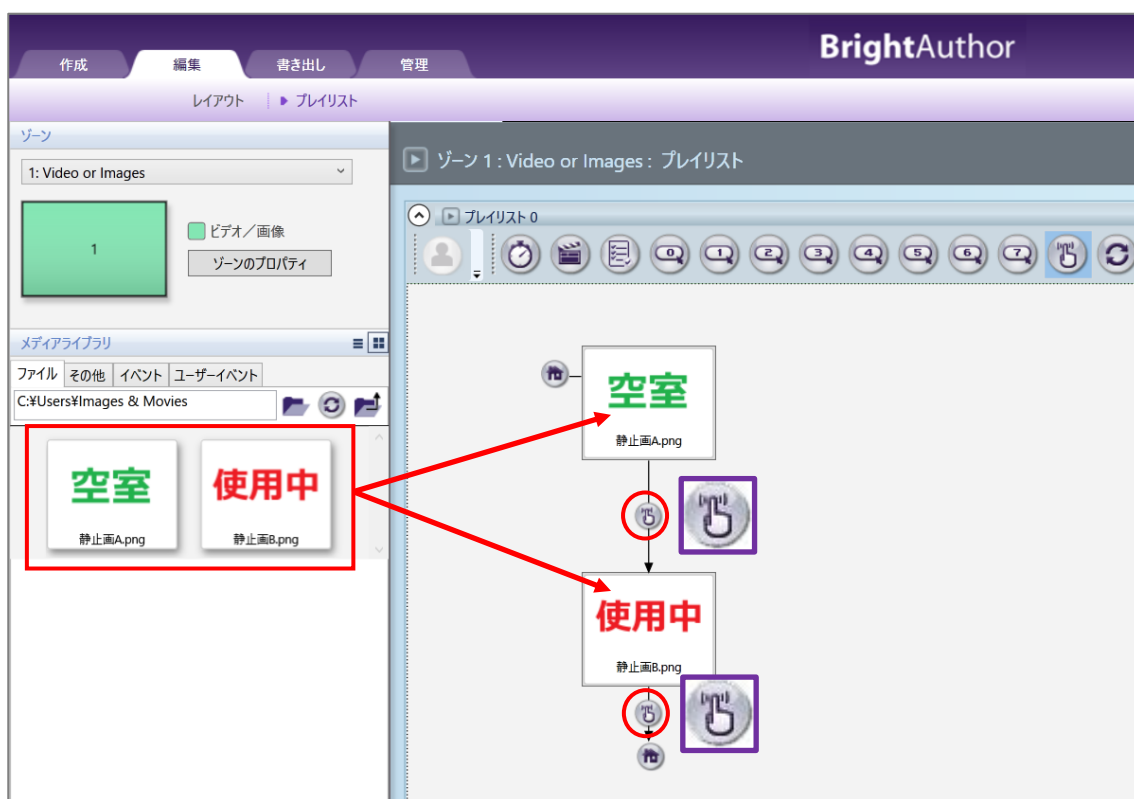
- ・起動時に静止画 A を表示して LED は消灯
- ・ディスプレイをタッチすると静止画 B に切り替わり LED が点灯
- ・ディスプレイをタッチすると静止画 A に戻り LED が消灯

①BrightAuthor を起動し、GPIO2 と GPIO3 を出力に変更します。ファイル > プレゼンテーションのプロパティ > I/O タブの順に開きます。

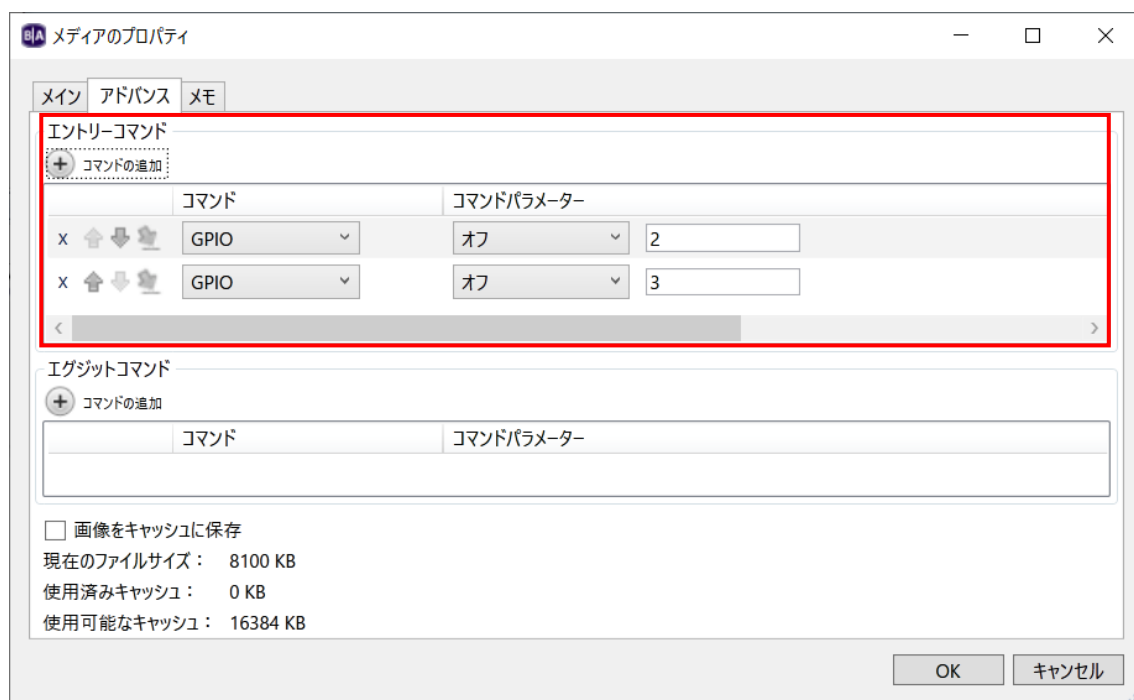


②GPIO2 と GPIO3 を出力に変更します。[OK] をクリックして決定します。[OK] をクリックせずにウィンドウを閉じると設定の変更が反映されません。

③編集タブを開き、プレイリストのタイプをインタラクティブにします。

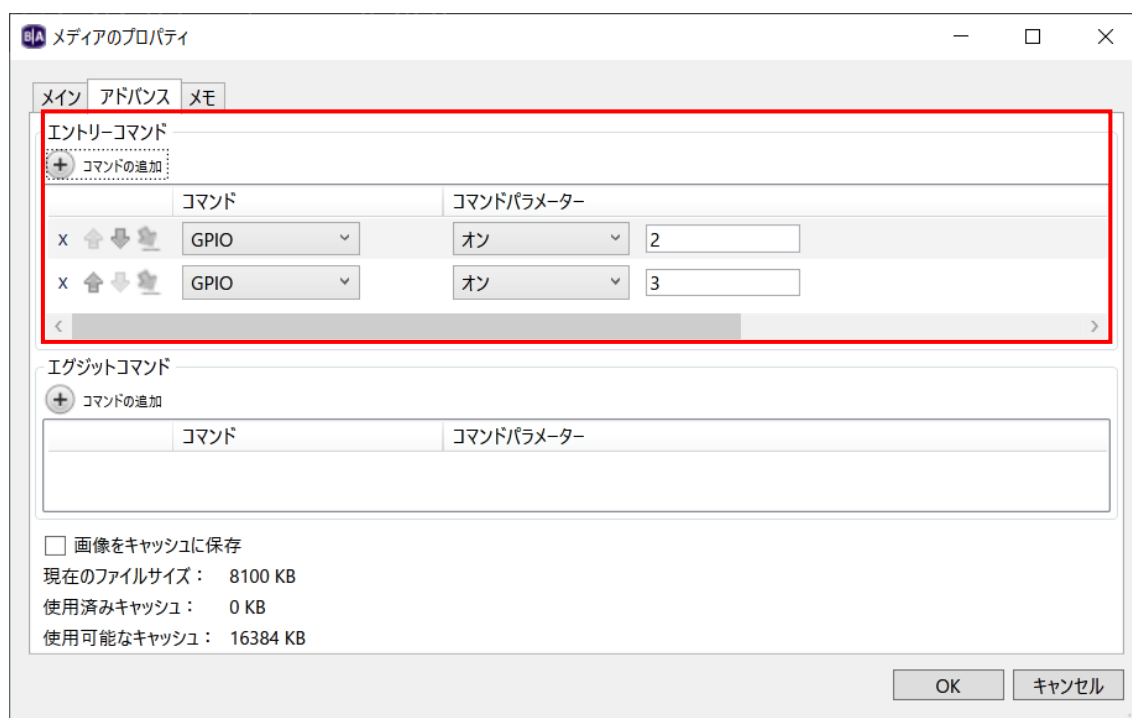


④画面をタッチすると静止画 A と静止画 B が切り替わるように設定します。静止画 A と静止画 B を登録し、タッチイベントアイコンで、静止画 A → 静止画 B、静止画 B → 静止画 A と結びます。次に静止画 A 表示中に LED を消灯するように設定します。登録した静止画 A のサムネイル (初期ステート) をダブルクリックします。



⑤アドバンスタブを開き、エントリーコマンドで GPIO2 と GPIO3 をオフにします。+コマンドの追加をクリックし、コマンドは [GPIO]、コマンドパラメーターは [オフ] を選び、入力ボックスに [2] を入力します。これで GPIO2 がオフになります。同様の手順で GPIO3 もオフに設定し、OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

⑥次に静止画 B 表示中に LED を点灯させるように設定します。登録した静止画 B のサムネイルをダブルクリックします。



⑥アドバンスタブを開き、エントリーコマンドで GPIO をオンにします。画像のように GPIO2 と GPIO3 をオンにした場合は LED が黄色に点灯します。点灯色を緑にする場合は GPIO2 のみを、赤にする場合は GPIO3 のみをオンにします。設定が終了したら OK をクリックして閉じます。

⑦以上でプレゼンテーションの作成は終了です。プレーヤーの更新方法に合わせて書き出しを実行します。

9 OSD（ディスプレイ設定メニュー）

OSD（On Screen Display）では ディスプレイ の設定が可能です。OSD は本体左側面の MENU/EXIT ボタンを 4 回連続で押すと ディスプレイ に表示されます。OSD 表示中に MENU/EXIT ボタンを押すと表示を終了します。OSD を非表示にした後に再度、OSD を表示する場合は、非表示にした後、5 秒以上の間隔を空けてから操作します。

OSD を表示すると、はじめに PICTURE メニューが表示され、VOL-/VOL+ ボタンを押してメニューを切り替えます。本製品で使用するのは PICTURE メニュー、OPTION メニューのみです。Channel、及び Applications は使用しません。使用しないメニューを開き、元のメニューに戻らない場合は ON/OFF ボタンで ディスプレイ の電源を入れ直してください。

9-1 PICTURE メニュー

ディスプレイの表示に関する設定を行います。UP/DOWN ボタンを押して設定を変更する項目を選択し、SELECT ボタンを押して決定します。MENU/EXIT ボタンを押すと項目を選択する画面に戻ります。

Picture Mode

画面の明るさ、コントラストなどがプリセットされています。VOL-/VOL+ ボタンを押して選択します。

【User（初期設定） ⇄ Vivid ⇄ Standard ⇄ Soft】から選択します。

User の値は変更が可能です。UP/DOWN ボタンを押して設定を変更する項目を選び、VOL-/VOL+ ボタンを押すと数値が増減します。操作をしない状態が続くと入力を受け付けなくなります。一度 OSD を終了した後に再度 OSD を表示して設定を行ってください。

Contrast	コントラストを調整します。極端な数値に設定した場合、白飛び、黒つぶれが生じます。【設定範囲：0～100】【User 初期値：75】
Brightness	明るさを調整します。極端な数値に設定した場合、白飛び、黒つぶれが生じます。【設定範囲：0～100】【User 初期値：46】
Color	色の濃淡を調整します。0 に設定するとモノクロのような表示になります。【設定範囲：0～100】【User 初期値：45】
Sharpness	数値を高くする程、輪郭を強調しますがジャギーの目立つ表示になります。【設定範囲：0～100】【User 初期値：1】

※Tint（色合い）の値は変更することができません。

Color Temperature

色温度を変更します。VOL-/VOL+ ボタンを押して選択します。

【User（初期設定） ⇄ Cool ⇄ Medium ⇄ Warm】から選択することができます。

User の値は変更が可能です。Red/Green/Blue の各カラーを UP/DOWN ボタンで選択し、VOL-/VOL+ ボタンを押すと数値が増減します。数値を大きくすると色を強調します。操作をしない状態が続くと入力を受け付けなくなります。一度 OSD を終了した後に再度 OSD を表示して設定を行ってください。

【設定範囲：0～100】【User 初期値：50】

Backlight

バックライトの明るさを調整します。VOL-/VOL+ボタンを押して数値を増減させます。数値を 0 にしても完全には消灯しません。【設定範囲：0～100】【初期値：100】

9-2 OPTION メニュー

OPTION メニューでは OSD の言語の選択（日本語表示は非対応）、OSD 設定の初期化が可能です。**HDMI CEC は使用しません。メニューを開くことはできますが設定を変更しないでください。**

OSD Language

OSD の表示言語を変更することができますが、日本語表示には対応しません。初期設定の English 以外の言語に設定した場合はサポート外です。

Restore Factory Default

OSD 設定の初期化を行います。初期化されるのは OSD の設定のみで **BrightSign** は初期化されません。SELECT を押して選択した後、VOL-を押すと初期化を実行、VOL+を押すと初期化をキャンセルします。

10 製品仕様

製品名	Bluefin シリーズ 4・ 10.1 インチ タッチディスプレイ	Bluefin シリーズ 4・ 15.6 インチ タッチディスプレイ	Bluefin シリーズ 4・ LED 内臓 10.1 インチ タッチディスプレイ
型番	BS/BF10WT4	BS/BF15WT4	BS/BF10TPL4W
JAN コード	4522686008119	4522686008126	4522686010082
インチ数	10.1 インチ (アスペクト比 16 : 10)	15.6 インチ (アスペクト比 16 : 9)	10.1 インチ (アスペクト比 16 : 10)
最大輝度	450 ニト	300 ニト	450 ニト
バックライト	LCD		
解像度	1280 x 800	1920 x 1080	1280 x 800
視野角 (垂直/水平)	89°/89°		
方式	静電容量方式		
コントラスト	900CR	700CR	900CR
内蔵スピーカー	3W (1.5W x2)		
インターフェース	WiFi アンテナコネクタ、3.5mm オーディオ出力 (アナログ、S/PDIF 兼用)、 PoE+対応 1000BASE-T Ethernet、Micro SD カードスロット、USB、GPIO (6 ピン、 Phoenix 端子)、RS-232 (3.5mm ピンジャック)、IR (国内では使用しません)、 12V AC アダプター接続コネクタ		
ステータスランプ	Error、Power、Busy		
VESA マウント	100 x 100mm (M4 x 6)	75 x 75mm (M4 x 6)	100 x 100mm (M4 x 6)
動作環境温度	0~40℃		
動作環境湿度	10~85% (結露なきこと)		
保管環境温度	-10~55℃		
保管環境湿度	0~85% (結露なきこと)		
外形寸法	249.96 x 168.6 x 39.7mm	378.23 x 237.94 x 41.6mm	251.96 x 170.6 x 40.7mm
重量	1.28kg	2.0kg	1.25kg
付属品	AC アダプター、WiFi アンテナ、Micro SD カードスロットカバー ※		
保証期間	ご購入から 1 年		
主な機能	H.264/H.265 1080p60 ビデオの再生、HTML5、IP ストリーミングの再生、 BrightBeacon、同期再生 (BrightWall)、モザイクモード、ゾーン機能、 タッチパネル、ライブフィード、GPS 対応、BrightSign App、Sign Preview、リモート スナップショット、ネットワーク更新		

※Micro SD カードスロットカバーは本体に取り付けられた状態で出荷されます。